

宮城県行政評価委員会 政策評価部会  
第3分科会（令和元年度第1回）議事録

日時 令和元年5月29日（水）午後3時から

場所 県庁9階 第1会議室

1 開会

2 審議

(1) 宮城県震災復興計画の体系の政策7関連の評価の質疑

①施策評価の質疑

政策7「防災機能・治安体制の回復」

施策3「自助・共助による市民レベルの防災体制の強化」

3 閉会

出席委員 佐藤健委員（分科会長），青木俊明委員

---

審議

## **宮城県震災復興計画の体系**

### **政策7「防災機能・治安体制の回復」**

#### **施策3「自助・共助による市民レベルの防災体制の強化」**

(佐藤分科会長)

大変お忙しい中、対面審議にお越しいただきましてありがとうございます。

早速、審議に入らせていただきます。

震災復興のほうの施策3「自助・共助による市民レベルの防災体制の強化」というところにつきまして質疑を行わせていただきます。

私のほうから質疑をさせていただきます。

原案の資料のページで申し上げますと652ページ目ですね。上のほうに事業の成果として大きく2項目記載がありまして、1つ目は地域防災リーダーに関することと、2つ目に地域主導型応急危険度判定ということがあって、大きくこの事業の評価が、この2つが代表的なものという位置づけを確認することができます。

また、下のほうの課題と対応方針につきましても、今申し上げた2つの項目についての課題と対応方針がありますので、その中で2番目の「地域主導型応急危険度判定等実施体制の整備」というところ、2つのうちの1つについて、質疑をさせていただきたい背景になっております。ここの確認がしっかりできませんと、施策全体の評価がなかなか難しいと思いましたので、お越しいただいた次第です。

それで、あらかじめ質疑をさせていただいて、回答もいただいているところの、「地域主導型」というキーワードがついている応急危険度判定体制の整備についてなんですけれども、例えば656ページ目の具体的な事業名としますと、「建築関係震災対策事業」が該当するのではないかと。そこに危険度判定士の養成ですとか、具体的なお仕事書かれているわけなんですけれども、その記載されていることと、この「地域主導型」というキーワードとの対応関係が、ちょっとこの資料からだけでは見えづらかったと。この「地域主導型」というのをあえて書かれていることと、原案の資料に書かれている地域主導型ゆえの記載ということが少し、余り読み取れなかったものですから、そのあたり、ちょっとお話をお伺いできないかなと思った次第ですが、いかがでしょうか。

(危機対策課)

危機対策課でございますが、全体の評価は当課がさせていただいております。この部分の直接の担当課は建築宅地課となりますので、そちらから回答のほうをお願いしたいと思います。

(建築宅地課)

事前の質疑のほうでも回答させていただいていましたが、まず、「地域主導型」につきましても、通信網の遮断により関係機関及び判定士への連絡が困難となったことと、ガソリンの不足により移動手段の確保が困難となったというような、東日本大震災時における応急危険度判定の課題を踏まえまして、災害が起きたときに、地域が市町村のほうで主導的かつ速やかに避難所等の応急危険度判定を実施できるように、市町村と建築関係団体の災害時

活動連携協定の締結を促進したりとか、それから、あとは市町村としても、コーディネーターとして、応急危険度判定を行う上では、どういう班体制を組んで、どういう班分けでやらなければいけないとか、市町村としても備えておかないといけないところがございまして、1つは協定等結んで地元のほうで、県のほうもできる限り協力はするんですけども、市町村のほうで自らできるだけ判定等の準備を進めていただけるように協定を結ぶとか、それから、市町村としてもいろいろなノウハウを身につけるというようなことで、そちらの656ページに書かれていますような判定コーディネーター講習会のほうを開催して市町村のほうにコーディネーターの講習を受けていただくとか、それから、市町村での初期行動のマニュアルを作成するとか、そういったところを活動としているところでございます。

(佐藤分科会長)

ありがとうございます。趣旨も理解できますし、今のお話も理解していますが、例えば、今のお話にあった市町村と建築関係団体との協定促進ですとか、そういうキーワードが原案のほうに特段記載されていない状況なので、それがどれぐらい進んでいるのかが見えない状況で、順調か順調じゃないのかもなかなか見えにくいなど、正直、そう思った次第です。ですから、この「地域主導型」というのが書いてありますけれども、それが仮にない、応急危険度判定等実施体制の整備だけではなくて、あえて「地域主導型」という、かぎ括弧つきの名称が使われているがゆえの進捗状況、それに対応するような進捗状況が少し今の原案の資料だけではちょっと不足、県民目線で読み取れないというふうにちょっと思いまして、何かそのあたり、少しわかりやすく書いていただけることで、やはり「概ね順調」だなというふうに見ただけのような記載を少しご検討いただけるとありがたいなと思ったんですが、そのあたりどうでしょうか。

(危機対策課)

それでは、全体の取りまとめを危機対策課で行っておりますので、担当課と、その辺、今ご指摘ありました趣旨を踏まえまして、修文できるところあるいは追加できる文言があれば、つけ加えさせていただきたいと思っております。

(佐藤分科会長)

ありがとうございます。大変取り組みとしては素晴らしいことで、どんどん推進していただきたいと個人的にも思っておりますので、それが県民の方にもわかりやすい形で表記いただけるとありがたいかなと思いました。ありがとうございます。

それでは、確認させていただきたいことはこれで終わりとなります。大変ありがとうございました。